

## 平成27年度 事業報告

平成28年5月28日  
社会福祉法人 山栄会

平成27年度は通所(デイサービス)部門が、施設間の厳しい競争の環境下にも拘らず実績を伸ばしました。一方、介護報酬改定により連続30日超の利用に制限のかかった、短期入所(ショートステイ)部門が苦戦を続けました。通所部門は佐久・上田・千曲の3事業所計で昨年比で合計343名の利用者を増やし、新規の宅老所も加えると1,358名の利用者増となりましたが、短期入所部門は佐久・千曲の2事業所計で昨年比で合計701名の利用者減となり、通所と短期入所を合わせた利用者数は前年比で657名増となりました。

施設併設型の短期入所施設が増えている中で、連続30日超の利用に制限のかかった短期入所は一転して厳しい状況に置かれていましたが、ヘルパーステーションから特別養護老人ホームと広範な介護業務で培ったノウハウ、ケアマネおよび利用者・ご家族様と築き上げてきた信頼関係、利用者様のある限りどこまでも送迎にお伺いする積極姿勢を活かしての利用者拡大が今後の短期入所の課題になります。

岩手県のリアス倶楽部は、特別養護老人ホームと短期入所が引き続き高い稼働率を維持しており、地域の福祉拠点として大きな役割を継続して果たしています。

収益面では4月の介護報酬改定の影響(介護保険事業収入の減と介護職員処遇改善による人件費増)が、想定していた事ではあります大きく出ました。

事業活動計算書で見ますと、前年に比べ当期活動増減差額が3,500万弱減となっていますが、主な内容は介護保険事業収入の減が1,100万、処遇改善による人件費増が約1,900万となっています。

介護人材の不足・収益の悪化と介護を取り巻く環境は逆風にさらされていますが、超高齢化社会を迎えた社会からの期待に応えるために、これからも山栄会職員が一丸となり難しい局面に対応していきます。

特筆すべき事業所の状況は以下のとおりです。

### 【ケアハウス佐久だいら】

生活は自立しているが加齢により援助が必要な利用者が増えてきました。食事時の転倒防止と他の利用者への事故防止のため、毎食時に介護保険使用でヘルパーによる配下膳を実施しており、12名の入居者がサービスを利用しています。

また、今ある機能をできるだけ維持し、いつまでもケアハウスで生活して頂くために、デイサービスや宅老所も利用頂き機能訓練指導を受けたり、レクリエーションを楽しんで頂いています。

### 【佐久だいらデイサービスセンター】

お年寄りが過ごしやすい4~10月にかけて利用者数が前年を上回りましたが、寒い季節の11~3月の利用者数が前年より減となり、年間では前年比で56名の利用者増となりました。

毎年寒い季節は利用者数が減りますが、寒い季節でも通って頂ける魅力を作り出す必要があります。土曜・日曜のイベントは利用者様およびケアマネ殿にも好評で、毎回多くの利用者を集めています。

### 【ショートステイ佐久だいら】

前年比で291人の利用数増となり、3年続いた利用者の減少に歯止めがかかりました。

既に取り組んでいますが、各事業所と広報活動の連携・利用者情報の連携等、組織を通じての活動による利用者数拡大が重要です。

### 【さんえいコモンズ小諸(宅老所)】

平成27年2月の開所以来、着実に利用者数を増やしており、2年目の2月は70%の稼働率を達成しました。4月から制度改正により、小諸市の地域密着型小規模デイサービスとなり、今後は小諸市の利用者が対象となり、社会活動および広報活動も地域に根ざした活動が必要になります。

#### 【諏訪形デイサービスセンター】

他の施設で利用をお断りされた利用者の受入れもおこなっており、受入れ後の利用者の状況もケアマネ殿の想定より格段に良い事から、施設の介護について高い評価を頂けるようになり、他の利用者の紹介も頂いており実績は前年比で186名の利用者増となりました。認知症デイサービスであり重度の利用者が多い事から、入院や施設入所で利用中止となる利用者も多く、安定した利用者数を維持するには重度ではない利用者の確保が課題です。

#### 【千曲デイサービスセンター】

開所4年目で稼働率も73.7%と伸び、利用者数も前年比101名増になりました。千曲地域の特徴として日曜日のデイサービス利用者が極端に少ない状況があり、千曲デイサービスにおいても多くて3名の利用という状態が続きました。また千曲市は勤務先として隣の長野市への志向が強く、介護職についても同様で介護人材不足が続いている事から、7月より日曜日の営業を休止しています。

#### 【ショートステイ千曲】

年間利用者数が前年比で992名減となっています。利用者数減の原因は2つあり、介護報酬改定によりショートステイの連続30日超の利用に制限のかかった事により、ケアマネが30日超のショートステイ利用のケアプランを作成しなくなり、該当する利用者の施設入所が進んだ事。夏以降の退職者の人材補充がタイムリーにできず介護職員が充分でなく、安全確保の面から積極的な利用者確保に動けなかった事にあります。現在は介護職員不足は解消されつつありますが、千曲地域においては介護人材不足は深刻な問題です。

#### 【特別養護老人ホームリアス倶楽部】

利用者数は前年比で70名減ですが、利用者の介護度が年々上がり重度かしている事から、事業収入が前年比で約260万円増えました。

#### 【サン・パティオおおまち保育園】

平成27年10月に中小企業庁の「地域商業自立促進事業」に採択決定後、10月14日の理事会・評議員会で保育所設置事業計画の承認を頂き、平成28年4月の開所に向け準備をおこなってきました。園長以下15名の保育士と3名のスタッフにより4月2日の入園式をおこない、現在32名の園児が元気に通園しています。

#### \* 太陽光発電の効果について

・経済産業省・再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金の助成を受け、自家消費用の太陽光発電設備工事を、ケアハウス佐久だいら、ショートステイ佐久だいら、ショートステイ千曲の3事業所でおこない、平成27年11月12日より3事業所ともに運用を開始していますが、開始後4ヶ月間の対前年比の電力料金は3事業所合計で、169万円強(1ヶ月あたり約42万円)の削減効果が出ています。

#### \* 助成による福祉車両の配備について

・佐久だいらデイサービスセンター：日本財団殿より助成を受け、ホンダステップワゴン(8人乗り)を2月末に配備しました。(助成金額:126万円)